

平成26年度 事業計画

我が国においては、平成24年度から所謂団塊の世代が毎年200万人ずつ65歳の定年を迎え、現在、高齢化率25%、高齢者人口が3,000万人を超え、4人に1人が高齢者という状況です。このことは、高齢者といえども社会を支える一員にならなければ社会が維持できないということを物語っているものと考えます。

また、経済は長く低迷していましたが、一昨年12月安倍内閣が誕生しデフレ脱却・経済の活性化に向けて所謂アベノミクス政策に専心、経済成長戦略で転換を図ったところ、円安株高へと急速に進行し経済が活力を取り戻しつつあり、社会全体に元気と活気が出始めました。

これに呼応するように、国はシルバーへの事業強化を始めたところであり、シルバー事業を「国民の健康寿命が延伸する社会」の構築を目指すための事業として位置づけられました。

しかし、本市シルバーは、経済状況・補助金削減・公益事業の厳格化そして請負・委任や派遣事業などの契約の適正化等などにより、現在に至るまで厳しい事業経営を余儀なくされてきました。

このような厳しい現状を踏まえる中で、国の動向を注視しつつ、「自主・自立、共働・共助」というシルバーの基本理念の下、会員・役職員一体となって、シルバー人材センターが果たす役割を今一度再認識し、社会情勢の変化や地域社会の多様なニーズに適応できるシルバー事業運営を進めてまいります。

1 基本方針

- (1) 就業機会の拡大
- (2) 会員の拡大
- (3) 安全・適正就業の推進
- (4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定
- (5) 福祉・家事援助サービスの実施
- (6) 会員による自主的運営体制の確立
- (7) 長崎県シルバー人材センター連合会との連携

2 事業実施計画

- (1) 就業機会の拡大
 - 役員による就業開拓

- ①昨年試行しました理事による就業開拓を活かしながら本格実施に努めます。
- ②更なる展開を図るため地域班・職群班の役員による就業開拓を目指します。
- 地域や企業のニーズの把握
 - ①ニーズ把握のためのアンケートの実施を行います。
 - ②訪問による発注者・利用者等の意見等の聴取に努めます。
- 全会員へ就業開拓取組みの検討
 - ①全会員による就業開拓運動として「会員1人1仕事紹介運動（仮称）」展開への検討を行います。

(2) 会員の拡大

- 新規会員の加入促進
 - ①理事による定期的な本部及び地区説明会の継続に努めます。
 - ②会員による口コミの加入促進について丁寧な説明を行いつつ協力を求めます。
- 普及啓発活動の推進
 - ①公益社団法人としての取組みをPRしつつ、センター事業の理解と協力を得ることに努めます。
 - ②各種広報物の活用した町内会を始めとする適宜の情報発信に努めます。
 - ③シルバー人材センター事業の普及啓発促進月間（10月）及びシルバーの日（10月第3土曜日）を中心とした広報活動に取り組みます。

(3) 安全・適正就業の推進

- 安全就業の推進
 - ①安全衛生委員会等による就業現場の定期的及び臨時的な巡回指導と安全用具着用励行の徹底に努めます。
 - ②各種研修会、講習会及び巡回指導時などにおける安全講話の実施に努めます。
 - ③全会員に対する「安全だより」の配布を行うとともに、健康診断の受診を奨励する。
- 適正就業の推進と公平な就業機会の提供
 - ①法令及び要綱を遵守した就業体制の構築、改善に努めます。
 - ②意識の高揚と適正受注の推進に努めます。
 - ③適正かつ公平な就業機会の提供を推進します。

(4) 事業運営の効率化及び財政基盤の安定

○経費節減の徹底と事務効率化の推進

- ①全ての経費について更なる見直しと節減に努めます。
- ②事務の見直しを含めた効率化を引き続き図ります。

○財政基盤の安定

- ①自主的かつ自立的事業運営を図るために、公共契約の継続確保と民間契約の確保と拡大に努めます。
- ②経営の視点に立った職員の意識改革に努めます。

(5) 福祉・家事援助サービスの実施

○企画提案型事業（平成 24～26 年度）の推進

- ①介護・教育分野における支援事業として、高齢者いきいきサポート事業を継続実施します。

○地域における高齢者等の支援（ワンコインサービス）事業の検討

- ①介護保険の要支援者サービスにおける市町村事業（地域支援事業）への移管の動きに伴う、老人福祉施設、家庭等における調理、住居等の清掃・整理整頓など介護周辺事業も含め、広く地域における高齢者等の支援事業の検討を行い、市へ説明提案を目指す。

(6) 会員による自主的運営体制の確立

○理事会・専門部会（総務、事業、配分金、広報、安全・衛生）及び各専門委員会活動の強化に努めます。

○受注業務の円滑・敏速な対応を図るため、職群班の機能の充実に努めます。

○職群班の総会、地域別ブロック研修会の自主的開催に努めます。

(7) 長崎県シルバー人材センター連合会等との連携

○上記各項目を推進するために長崎県シルバー人材センター連合会や県内各拠点シルバーとの情報交換を始めとする連携を強化します。

○ 目指す数値

項目	目標数値	備考
会員数	1,400人	平成 26.3.1 現在 1,326人
受注件数	5,900件	平成 24 年度 5,867件
契約金額	4億3,100万円	平成 24 年度 4億1,141万円
就業率	72.5%	平成 24 年度 71.9%